

第5回 保谷第一小学校 学校運営協議会（要点記録）

日時 令和7年2月14日（金）15時30分～16時30分

場所 保谷第一小学校 図書室

出席者 萩原崇委員、中野洋子委員、有本唯委員、山本理乃委員、福田妙子委員
牛村美香委員、高田進委員、吉村真理子委員、原之雄委員

欠席者 古賀卓夫委員

委員10名中、9名の出席、学校運営協議会規則第11条第2項の規定により、会議は成立

校長挨拶

本日はありがとうございます。今回が今年度最後の会です。

今日午前中、市内小中学校の校長が全員集まる「校長会」がありました。そこでの後藤彰教育長からの話を紹介させていただきます。

1. 次期学習指導要領について

現状認識とこれから子どもたちに身に付けさせたい力についての話がありました。日本全国で、2040年には年少者数は1142万人になり、65歳以上の人数が全体の3分の1を占める少子高齢化の勢いがすごいということです。また、生成AI等の技術の発展もめざましいものがあります。そういう時代を生きる子どもたちには、一つはたくましく生きていく力、自分の人生を自分で舵取りする力を身に付けてほしい。そして組織を最大化するために主体的に取り組む姿勢を支援する力、リーダーシップとフォロアーシップ、個人としての力と他者との協調、そういう力を学校として子どもたちに身に付けさせてほしいとの話でした。受験のための知識技能など、その時限りのものではなく、もっと大きくくりで見ていく必要がある。その思いが6年生が取り組む全国学力調査の問題文などを見ると、よくわかります。

2. 学校を核としたまちづくり

学校をよくする→CS（コミュニティ・スクール）からSC（スクール・コミュニティ）へ。学校をネタにした地域活動の復活、子どもの教育のためにも、バラバラになってつながりが薄くなってしまった地域を学校を核にしたまちづくりをしてほしい。そういう視点で学校を作っていくことも大切にしてほしい。子どもの教育活動と地域との関わりを考えていく必要あるとのことでした。運営委員の皆様には、学校で作成した資料や参観していただいたりしてお気付きのことを率直に教えていただければと思います。

次第1 学校評価報告書について

副校長 資料の確認をお願いします。
A4のステープラー留めの資料はGoogleFormを使って9つの質問をした保護者アンケートの結果で、回答数357件でした。そのうちの肯定的評価をわかりやすく表示しました。
A4横書きのものは子どもたちへのアンケート結果です。
それらの結果と教員アンケートの結果をもとにA3版の学校評価報告書を作成しました。詳細は各担当より説明をします。のちほど、委員の方々にも評価をお願いします。

研究 問題解決力の育成についてお話しします。
昨年度までの算数科の研究をもとに、今年度はふるさと探究学習を軸に進めてきました。自分たちが疑問に思ったことを、自らの力で解決するためにどのような手立てが有効なのか、校内研究をしてきました。CSを生かして地域の方々にご協力いただく教材を開発したり、タブレット端末を活用する授業を開発したりしてきました。例えば4、5年生では、スプレッドシートの活用、データ管理、アンケートなどお互いに活動内容が見合えるような授業展開を通して子どもたちが関わり合うような活動を実践してきました。
来年度以降も、子どもたち自ら問題解決に向けて取り組む授業展開を工夫していきたいです。

特別活動 人間関係形成力の育成についてお話しします。
異学年によるたてわり班活動を年間を通して行っています。それをレインボー班活動と言っているのですが、その活動の中で異学年との接し方を学んでいます。最後のレインボー班お別れ会では6年生にメッセージカードを送るのですが、それを読むと6年生に対しての憧れの気持ちを書く児童もたくさんいます。6年生の低学年への接し方や振る舞いが、いい影響を与えていて、それが伝統として年々紡がれていることが実感としてあり、肯定的評価を得られていると思います。

西東京子ども条例、西東京あったか先生については、全教職員の意識を高めるためにも、毎月曜日の職員夕会で「あったかタイム」を設けています。教員はどうしても、困ったことや、心配なことが多い児童の話をしてしまいがちなので、この時間では子どもたちの良いところ、あったかいなあと感じたところを共有する時間にしています。

生活指導

生き抜く実践力の育成についてお話しします。

まず、体力向上に関しては、体育朝会や〇〇旬間の実施をしています。例えば持久走旬間で、「持久走」と聞くと、嫌な思い出をお持ちの方もいるのではないかと思います。学校では休み時間に友達と楽しみながら、音楽に合わせて走る活動をしています。絶対参加ではないのですが、毎日体育委員がキーワードを発表し、その言葉をつなげると最終日にひとつの文になる、というような、そういう楽しみを取り入れながら活動する工夫をしています。3月には長縄朝会があります。全学級の合計回数を「保一レコード」とし、2学期の記録を超えるよう各クラスで練習に励んでいます。体育委員を中心に、朝会や旬間に取り組んでいます。

また、体育の授業では、学年の発達段階に合わせた学習カードの活用や、タブレット端末を活用して学習しています。タブレット端末では、見本の動きを動画で視聴したり、自分の動きを録画して確認したりしています。

次に、児童が安心して学校生活を送れるように全教職員で子どもたちを見ています。子どもたちが相談できている、もしくは困らなかったという児童のアンケート結果に、一安心しています。学年、学校全体で子どもたちと向き合うようにしてきたことがこの結果につながったと思うので、今後も「チーム保一」として全教職員で取り組んでいきます。

教務

保護者や地域との連携について評価報告書の2つについてお話しします。

まず、ホームページやすぐるを活用して情報発信することができました。ホームページの「ほいち日記」は学校での行事や日常の様子、ゲストティーチャーをお招きした授業などをお知らせしています。また、毎月発行の学校だよりや、学級だより、クラスによっては連絡手段としてタブレット端末のGoogleクラスサイトを活用しています。今後も続けていきたいです。

次に小中連携についてですが、今年度は保一小を会場に栄小学校、青嵐中学校の先生方をお招きして5分科会に分かれて情報交換し、共通理解を図ることができました。隣の学校ではあるものの、話してみないと分からないことや違うこともあり、有意義な時間となりました。また、その話の中で小学校卒業から中学校入学までの不安感などを少しでもなくせればということで、今年度は新たに中学校の先生によるオリエンテーションを1月末に行いました。3校をmeetでつないで、中学校の学習面や生活面などを中学校の教務、生活指導担当の先生方に話をいただきました。小学生にとっては残りの小学校生活をいい緊張感をもって送れる場となりました。部活動体験では、中学生とだけでなく小学生同士でも交流を図ることができました。

小中連携だけでなく、幼稚園、保育園の子どもたちをお招きして本校1年生と交流する幼保小連携の取り組みも行っています。来年度以降も様々な交流を続けていきたいです。

生活指導

子どもの気になる情報は月1回の校内委員会、毎週木曜に行っている生活指導夕会などで全教職員で共有しています。担任一人で抱えこみ考えるのではなく、学校全体で問題に取り組んでいます。年に3度ある「ふれあい月間」ではアンケートを実施しています。そのアンケートに書かれていることだけが全てではないと思いますが、アンケートの回答や、消しゴムで消して書き直しているなど気になることがあれば、聞き取りを徹底しています。子どもたちの生活指導上の問題は放課後に起きていることもあるので、先日も放課後の公園を見回ってきました。

特別支援

特別支援教室に関しては今年度から巡回指導になったので、本校にいるのは週2回だけです。また、連携型個別指導計画になり、担任の先生方の事務的な作業は増えてきましたが、その分、個別指導への意識は高まってきたように思います。また、本校児童は何のためにしらうめ学級に通っているのかを自分自身で理解している児童が多いです。それは、学級担任とご家庭とが、その子のためにどうしたらいいのかという思いを共有していることが大きいと感じます。学校評価報告書の評価は教員回答の集計なので「3」なのですが、特別支援教育はこれでいいのか、担任の先生方も迷われる部分が多いからだと思うので、どの先生も教室ですぐにでもできそうな支援を今後も発信していきたいと思います。

副校長

業務改善・働き方改革についてお話しします。

この項目は教員のアンケート結果なのですが、働き方改革とは、楽をしたいからではなく、本来の業務である子どものために何ができるのか、無駄を削減していくということです。子どもと向き合うために会議を減らしたり、学期末事務整理日を設けたりすることで効率的に時間を使えるようになってきました。西東京市では、出退勤時刻を打刻し、電子データで管理していますが、本校では平均して残業時間月45時間以上を下回っています。

次第2 意見交換

- 委員 大変そうだなと思いながら聞いていました。保護者の方との連絡も、教材の準備、タブレット、放課後、やることが多くて頭が下がる思いです。
学校によっても様々だと思いますが、本校の児童は幸せだなと思います。
- 委員 末っ子が中1になります。中学校生活を心配な気持ちで見えていましたが、聞いたことのない名前が会話にあがる、栄小の児童の名前があがるのが早いうちにありました。小学校時代に小中連携で栄小学校の子どもたちと一緒に遊んだことが、中学校に入学した先ですぐに仲良くなれることになっているのか、事前に遊ぶことは大切なんだと思いました。
育成会では、天神社のおまつりの見回りもしているのですが、たくさんの先生方も遊びにきてくださりありがたかったです。子どもたちへの声掛けなどもしていただき、時間外で申し訳なかったが助かりました。
- 委員 よく話をする保護者の方の話を伝えさせてください。その方がおっしゃるには、いざというときのための引き取り訓練がありがたい、土曜授業もあり、子どもの様子がわかってありがたい、兄弟や親戚が少ないご時世で、いろいろな年代の子と関われるレインボー班活動で関わり合えることがありがたい、算数で行われている少人数指導もありがたい、とのことでした。
- 質問 来年度の朝学習の実施についてですが、どのような形態で行う予定ですか。
- 副校長 8:25までに登校し、8:30～8:40までの10分間はeライブラリを活用し基礎基本の繰り返し学習をしていく予定です。
- 質問 それは今年度の全国学力調査の結果をうけてですか。
- 校長 問題解決能力の育成は授業で、基礎基本の定着は朝学習の時間を活用していくということです。
- 委員 子どものアンケートの5問目ですが、「困ったことがあったか、なかったか」「相談できたか、できなかったか」としたほうがいいのか設問の内容が分かりづらい気がします。
- 副校長 ありがとうございます。次年度に生かしたいと思います。
- 質問 来年度のスポーツデーについて教えてください。
- 校長 以前お願いしたアンケートの結果を簡単にお伝えさせてください。
298件の回答があったので、大体50%の回収率で、1、2年生のご家庭からの回答が多かったです。
- ①開催時期について
熱中症対策、学級経営上、学習の成果発表という側面から、10月開催にします。
保護者アンケートの結果は、5月開催希望33%、10月開催希望67%でした。5月開催希望の理由としては幼稚園の運動会や、学校行事との重なりが心配、10月開催希望の理由としては熱中症対策、と挙げるご家庭が多かったです。
いずれは、6年生の赤城移動教室の1学期実施も考えていきたい。
- ②種目数について
保護者アンケートの結果はほぼ同数でした。
現在のスポーツデーの内容は、新型コロナウイルスガイドラインに則った内容なのか、短時間行え、競技性のない（大きな声での応援することがない）もの、競うというよりはスポーツを楽しむという会です。
- ③開催の形態について
低・中・高学年ごとの分散開催希望が6割強。全学年一斉開催希望が4割ちょっとでした。
分散開催希望の理由としては、見やすい、こまかい、短時間の鑑賞なので楽に見られる。一斉開催希望の理由としては、一体感、全員がそろって活動している姿もみたい、それを経験させたい、というものでした。
一斉開催を望む声は思っていたよりも多く、学校としては子ども本位で考えていきたいので、次年度は一斉開催で行うと考えている
時間については、「午前中のみの半日開催」も「午後までの開催」も同じくらいの数でした。
コロナ禍の時期は半日開催をしてきたので、子どもも一日開催に耐えられるのか、また一斉開催の経験のない教員も増えてきているので運営能力にも不安がありますので、午前中半日の開催で考えています。
- 資料を作成していたのですが、まずはPTA会長の萩原さんに見ていただいてからだと思います。その後皆様の意見も聞いて考えていきたいです。

- 質問 評価が変わったもの、変わらなかったものについて今後どのように考えていくのか。
- 校長 「4」だからいい、というわけではない。それが妥当かどうか引き続き考えていく必要があります。また、「3」だったものについても来年度に向けて学校評価も含め検討している段階です。何ができるのか、何をしていったらいいのかを考えていきます。
- 例えば校内委員会を定期的に行う必要があります。そのために、放課後の時間を確保するべく職員会議を夏休みに移行して時間を創出していくなど職員に指示、改善していきたい。そもそも教員の勤務体系は不思議なもので、お昼の「休憩休息」が給食指導中なので休めません。ですから、教員の「休憩休息」は15:45から16:30までとなっています。となると、6校時まで授業をして、児童の下校が15:30、そこから会議などやるなど無理があります。現在の教員の勤務体系で放課後に会議をやるのは無理なので、その考え方自体を変えていく必要があるのです。夏休みに会議をして、授業のある平日の放課後は、授業準備や児童の生活指導等の時間にあてていきたいと思います。
- 学校評価報告書についてはお持ち帰りいただいて、後日ご提出をお願いします。

全委員による確認を経て本年度の保谷第一小学校、学校評価報告書が承認された。

次第3 事務連絡

- 副校長 来年度も引き続きよろしくお願いいたします。
- 来年度第1回の学校運営協議会は令和7年4月30日（水）15:00～を予定しております。
- 具体は開催通知を送らせていただきます。

以上で第5回保谷第一小学校学校運営協議会を終了する。